



CHARTERED SEPT. 11. 1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2016 - 17 会長主題

招かれた者としてふさわしく

あずさ部長	浅羽俊一郎 (東京山手)	「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！」
東日本区理事	利根川恵子 (川越)	「明日に向かって、今日動こう」
アジア地域会長	Tung Ming Hsiao (台湾)	“ Respect Y's Movement” 「ワイズ運動を尊重しよう」
国際会長	Joan Wilson (カナダ)	“ Our Future Begins Today.” 「私たちの未来は、今日より始まる」

会長 金本伸二郎 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 増野 肇・飯野毅与志 / 会計 中村孝誠
 直前会長 浅羽俊一郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 松本竹弘

2016年11月
山手・サンライズ・たんぽぽ 合同例会
 <ワイズ理解・ファミリーファストの月>

と き 11月15日(火) 18:30~20:30
 ところ 山手センター 101号室
 受付 3クラブで担当

<第1部 セレモニー>
 司会 たんぽぽ会長 小原史奈子さん
 開会点鐘 山手会長 金本伸二郎さん
 ワイズの信条・ワイズソング 一同
 聖句朗読・祈祷 山手 飯島隆輔さん
 ゲスト・ビジター紹介 司会者
 会長挨拶 3クラブ会長
 報告・連絡事項 各担当
 YMCA報告 松本竹弘山手センター館長

<第2部 ユース報告とジャズのタベ>
 司会 たんぽぽ 藤江喜美子さん
ジャズ演奏 1st ステージ 下間 哲さん
 遠藤浩明さん

食事・懇親
ユースによる報告
 ユースコンボケーション
 ユースボランティアリーダーズフォーラム
ジャズ演奏 2nd ステージ
 ハッピーバースデー 3クラブ会長
 ニコニコ 一同
 閉会挨拶・点鐘 サンライズ会長御園生好子
 集合写真と後片付け 一同

当番[第3班]、鈴木田(祐) 浅羽、金本、増野

ワイズメンズクラブ モットー

『 強い義務感をもとう
 義務はすべての権利に伴う 』
 “ To acknowledge the duty
 that accompanies every right ”

今月の聖句

すべての民よ、手を打ち鳴らせ。
 神に向かって喜び歌い、叫びをあげよ。

詩編 47:2

10月報告

会員在籍数		16名
例会出席者	メン	13名
	メネット	1名
	ゲスト・ビジター	4名
会員出席率		81%
ニコニコ	6,442円 (累計 23,592円)	

B F 国内切手 ーkg 外国切手ーkg



10月例会 報告

時：10月18日(火)

場所：山手センター 101号室

参加者：浅羽、上妻、飯島、飯島(愛)、尾内、
尾内(規)、金本、功能、鈴木田、鈴木田(祐)、
中村、増野、松本 13名

ゲスト・ビジター

小松原宏子さん(卓話者)、
掛布智久さん(先月の講師)
高山敦子さん、田中奈津子さん(卓話者友人)
金本佐紀子さん(メネット)

司会：鈴木田通夫さん

今年の天候不順を思わせるように、ようやく涼しい秋が来たと思うと今日は猛暑が逆戻りを感じさせる夜。いつもより人数も多く、にぎやかな雰囲気の中で例会は始まりました。今夜の講師のタイトルは「字幕の世界に魅せられて」で、児童文学者で映像翻訳者の小松原宏子さんのお話しに魅せられて参加された方もいたからでしょうか。講師は、会長と同じ教会に行かれている方で、スノーピーの作者チャールズ・シュルツの伝記の翻訳などもしておられ、ご自身の著作「いい夢ひとつおあずかり」は中国語にも翻訳されているとか。

どういうわけか、点鐘の鐘が見つからず、会長がご自分の頭を叩き、皆がそれに和して鐘の音をカーンと斉唱するという映像の世界がそのまま乗り移ったような幕開けでした(途中で見つかり、終わりの点鐘は大丈夫でした)。秋に相応しい美味

しい食事と、お客さんの一人田中さんの誕生祝い、祐子さん指導による歌は「紅葉」と秋の雰囲気さがそろったところで講師のお話が始まりました。

講師がこの世界に魅せられたのは、映画の世界と言うよりも、内容の多い英語の世界を「8文字2行の世界」(長いセリフをこの枠の中の日本語に翻訳)にはめ込むことに魅せられてでありました。最初に、字幕と吹き替えのどちらが好きですか?と問われましたが、流石に高齢者の多いワイズマンは一人を除いて字幕派でした。吹き替えは、うまい人が早口で沢山のことをしゃべれる利点があるのに対して、字幕は、2行の中に納めなければならず、しかも、1行8文字という制約があるところに文学的、知的な魅力がありそうです。英語の得意な人のなかには、“俳優が話していることを字幕が十分表していない。もっと話したはずだ”などとしたり顔で言う人がいますが、その通りにはできないのがこの世界です。つまり、英語力だけでなく、それを短い日本語に書き換えるところに文学的素養が無いとできないことがわかりました。

当日は、「天使にラブソングを」「プラダを着た悪魔」「炎のランナー」などの映画を材料に、楽しく話してくださいました。「プラダを着た悪魔」を英語版で見た時はさほど面白くなかったのが、日本語吹き替え版では、アドバイスをする男性(英語版では普通の男性)がお姉言葉で話すのがとてもうまく、それで面白くなったのだと言う裏話も聞かせてもらいました。「天使のラブソング」で主人公の女性が子どもの頃、シスターの先生に十二

弟子の名前を黒板に書きなさいと言われて、わからない彼女は、好きなビートルズの名前を書くのですが、ジョン、ポールの二人までは使徒（ヨハネ、パウロ）の名前と思えても、続いてジョージ、リンゴと書いてしまって、ジョン・レノン、ポール・マッカートニー、ジョージ・ハリソン、リンゴ・スターだとばれてしまう面白さのお話など、予定した時間も超える楽しいお話でした。

「字幕の世界に魅せられて」と言うタイトルで、ただひたすら映画の楽しさを求めて若い時代を過ごした筆者は、今は、この例に出されたどの映画も見っていないと言う情けない状態にショックを受け、「天使にラブソング」と「プラダを着た悪魔」はDVDで見なければ、特に後者は日本語版で見なければならぬと決意を固めたのであります。

(増野)

10月 ヨルダン会

とき：10月26日（水）19：00～21：00

ところ：山手センター201号室

出席：金本、浅羽、尾内、功能、中村、5名

議事：

- 1、あずさ部部会—10月22日（土）報告
参加者 70名
詳細は尾内さんの報告（別項）参照。
- 2、11月例会—11月15日（火）
山手・サンライズ・たんぽぽ 合同例会
- 3、12月例会
山手センタークリスマス—12月4日（日）
に合流する。
- 4、拡大ヨルダン会 忘年会を兼ねて開催
12月20日（火）18：30から
- 5、1月例会
卓話「福島除染活動に従事して」（仮題）
卓話者 寺本 彰さん（所沢市教育委員、
元中学教諭、南相馬にて除染活動に従事）
- 6、2月例会
山手学舎舎生との交歓会
- 7、会計報告
- 8、東日本区定款の見直し案について
いくつか意見がだされ、会長がとりまとめる。
- 9、在京ワイズ新年会
2019年1月7日（土）たんぽぽクラブ
がホストする。会場は山手センターを予定。

山手 YMCA はバザー日和

浅羽俊一郎

この時期は秋の行事が酣（たけなわ）で、元気な人にとっては色々忙しい週末が続くが、YMCAはどこも恐らくバザーやオープンハウス、会員や地域の人達との交流で賑やかな季節だ。山手Yも16日（日）が恒例のバザー。今年も地域とYMCAとの交流、会員相互の協力で力を入れた。今年はリーダーOG・OBと高等学院父母会と1業者を含む18グループが出店。またリーダー達が近所を回って50店がポスターの掲示に協力してくれたし、ワイズを除く14の企業・団体が協賛に連なってくれた。

さて、当日は爽やかな秋晴れ。朝早くからリーダー、ワイズ、講師・職員がテキパキとそれぞれの売り場・催し物会場で準備、仕込み等を進め、売店、屋台、工作、ゲームなど外の駐車場から4階の屋上までスペースはすべて埋め尽くされていた。山手クラブからは中村、浅羽が献品市を手伝った。合間に会館を回ると家族連れが多く、とにかく楽しそう。山手学舎の学生たちはカレーの出前。今年は美味しいとの評判で完売。気がつくと午後2時。大人気の抽選会。会場の101号室は外まで人が溢れ返り、当選番号が呼ばれる度に「ワー」という歓声。それも終わり、玄関ではずれ券の交換をすませた人達が帰っていく。



後は後片付けだが、職員やリーダーは馴れたもので、各階から集めたゴミを手際よく分別処理。5時過ぎには出店したグループの責任者が全員101号室に集合。今年の担当の宮田職員と松本館長からお礼の言葉と報告があった。「今年はボランティアが194名と昨年より30名多かった。新たに出演してくれるグループが出た。収益金63万円（昨年とほぼ同額）は東日本震災募金、熊本募金、リートレ、貧困家庭の子どものための新規プログ

ラムに当てたい」と。YMCAらしい楽しく充実したバザーだった。裏で準備する人は皆ボランティア。今後さらに地域との繋がり場になることを期待したい。

(山手クラブからは青鹿、浅羽、尾内夫妻、功能、中村、松本館長が参加。)

YMCAニュース

▼第 697 回東京 YMCA 午餐会

「ミツバチとアピセラピー」

(松本竹弘)

ミツバチは古くから私たちの生活に近い存在ですが、その生活の実態は必ずしもよく知られているとは言えません。ミツバチの社会の不思議と、特にその生産物(ハチミツ、ローヤルゼリー、プロポリスなど)の性質と利用について学びます。またミツバチやその生産物を利用した癒し「アピセラピー」(アピはミツバチのこと)の魅力についても紹介していただきます。

【卓話者】松香光夫氏 元玉川大学教授

【とき】11月21日(月)12:00~13:30

【ところ】東京大学YMCA

【参加費】3,000円(食事なし1,500円)

【問合せ】東京YMCA賛助会事務局

TEL:03-3615-5562 11月17日(木)まで

▼山手センターバザーのご報告

10月16日(日)、毎年恒例の山手センターバザーを開催しました。たくさんの方からご支援、ご協力を頂きありがとうございました。今年も多くのブースが出店し、たくさんの方の来館者で賑わいました。また、若いリーダー達が、山手センター近隣の店舗を回り、60店舗以上にバザーのチラシを貼ってもらいました。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。益金は、山手センターのボランティア養成、東日本大震災支援、熊本地震支援、フレンドシップファンドに用いさせていただきます。

▼講演会「子どもの貧困を考える」

「子どもの貧困」という言葉が、いろいろなところで聞かれるようになりました。生活困窮や社会的孤独、格差社会など多くの問題が深刻化している現代社会において、生きづらさを感じながら、この社会に生きている子どもたちは少なくはありません。日本では、6人に1人の子どもが貧困状況にあると報告されました。絶対的貧困だけでなく、相対的貧困、社会的排除という貧困概念は、今の私たちの暮らしの中では、どのように表れて

いるのでしょうか。行政に任せるだけではなく、私たちにできることは何か、1つでもヒントが見つかることを願っています。

【講師】後藤浩二氏

社会的課題の解決にむけた福祉教育のあり方研究会(全国社会福祉協議会)委員

【とき】10月6日(日)14:00~16:00

【ところ】東京YMCA山手センター

【参加費】500円

【問合せ】東京YMCA山手センター
03-3202-0321

おたより

<蓮見博昭さん> 先日は第20回あずさ部会にお招き下さり、私の拙いお話をする機会を設けて頂いて誠にありがとうございました。

<青鹿博明さん> 今、プログラムはハローウィン、バザーで動きまわっている中で、クリスマスの準備にも入っています。

<上妻英夫さん> 「連休前 紅玉ひとりが紅の顔」。蔵王山だけが紅葉の色を見せつけている。

<鈴木田通夫さん・祐子さん> 二人共高齢者となり、今度、老人ホーム(ケアハウス)に入りました。健康が許す限り今後もワイズは続けたいと思っています。YおよびYsの皆様よろしく。

<福村佐和子さん> 体の調子が悪いですが、必ずよくなります故、どうぞ皆様によろしく。

.....

会費の納入は、会計(中村君)への納入または下記銀行口座への振込みをお願いします。

三菱東京UFJ銀行 高田馬場駅前支店

普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」



第20回あずさ部部会を開催

尾内昌吉

2016年10月22日(土)13:30~16:30まで在日本韓国YMCAアジア青少年センターに於いて70名の参加を得て東京山手クラブのホストで開催された。10年前同じ場所であずさ部10周年記念部会をホストしたが、山手クラブは全員10歳年齢を重ね、準備もなかなか大変になった事を痛感した。

第1部の部会は地下1階ホールに於いて行われ、小山久恵あずさ部書記の司会、浅羽あずさ部長の開会点鐘・開会挨拶で始まり、金本山手クラブ会長の歓迎挨拶があった。来賓・区役員紹介の後、東日本区利根川理事より祝辞を頂いた。理事はその中で

- ① EMCに努め現在930名の会員を1,000名に。
- ② 定款の見直しを進めているのでご協力を。
- ③ 2017年2月に東山荘に於いて第2回東・西日本区交流会を開くのでご参加を。
- ④ JEFにもご協力を。
と強調された。



第2部の記念講演では、恵泉女学園大学名誉教授蓮見博昭氏より「アメリカ大統領選挙の最終章と日本」と題して時に叶った興味あるお話を伺う事が出来た。なお、同氏は最近「アメリカに女性大統領は誕生するか」と題する著書を出版されている。

<講演要旨>

- ① ヒラリー対トランプの支持率が当初はヒラリー一楽勝と言われていたがそうでもなく、私は僅差でヒラリーの逃げ切りと思う。
- ② 本日はアメリカのナショナリズム、ポピュリズム、フェミニズムを念頭に大統領選に関しなるべく日本では報道されていない事をお話ししたい。

- ③ ヨーロッパや他の世界中に女性の指導者は大勢いるのになぜアメリカには女性大統領が出ないのか？それは本質的には男尊女卑の社会だからである。
- ④ ようやく女性大統領が生まれると思うが人気がない。トランプの支持者が多いので、たとえヒラリーがなったとしてもトランプの政策を取り入れざるを得ない。例えばTPPの批准にしても然りである。
- ⑤ ポピュリズムの観点から言えば、アメリカは一般大衆の気持ちを大事にしトランプの如く極端に走る傾向がある。
- ⑥ この点日本ではトランプについて研究するように指示が出たのは今年の3月だが、諸外国では以前から研究し尽くし対策を立てている。
- ⑦ フェミニズムの点でも、いくら女性重視とは言ってもアメリカは本質的には男性重視の国である。革命でも起きない限り変わらない。

以上だが結論として、アメリカに女性大統領が誕生する公算が高いとは言え実現したとしてもそれだけでアメリカの政治・社会の様相が一変するわけではない。



第3部の懇親会は9階の国際ホールに場所を移し上妻ワイズの司会により始まり、大野次期あずさ部長の音頭で乾杯、食事、懇談と進んだ。

予め指定されたA~Jの9テーブルに着席、他クラブメンバーとの交流の場として配慮されたもので和やかに懇談が出来た。また有志合唱(元少女少女合唱団)があり「紅葉」「花の街」を歌った後、来年2月の東・西日本区交流会(東山荘)、6月の第20回東日本区大会(川越)等のアピールがあった。

最後に浅羽部長の挨拶、三本締めめでめでたくお開きとなった。ワイズらしい良い部会であったとの感想を何人かの方から伺い、ホストクラブ一同ホットした次第です。(写真・次ページに続く)



利根川理事も浅羽部長も合唱に参加して



ホストした東京山手の一同



第2部記念講演を終えて